

2013年「日本バブルの時代始まる！」

2012年12月25日
NHKラジオ

「NHKラジオ第1 ラジオあさいちばん」国際戦略情報研究所代表(IISIA)・原田武夫



原田 武夫(はらだ たけお、1971年-)は元外交官。原田武夫国際戦略情報研究所代表(CEO)。株式会社原田武夫国際戦略情報研究所(IISIA)は「3つのI(=internationality,idea,integration)」を合言葉に、半歩先の未来を提示する独立系シンクタンクです。

東京生まれ。1993年、東京大学法学部在学中に外交官試験に合格、外務省に外務公務員I種職員として入省。経済局国際機関第二課、ドイツでベルリン自由大学などの在外研修を経て、在ドイツ日本大使館勤務。その後、大臣官房総務課を経て、アジア大洋州局北東アジア課課長補佐(北朝鮮班長)を最後に2005年3月、自主退職。その後、独立系シンクタンクの原田武夫国際戦略情報研究所(IISIA)を設立。2007年に株式会社として法人登記、代表取締役(CEO)を務める。

日本が、世界が大きな転換期を迎える今、私たちは自ら国内外の情報、情勢を獲得し、先を見通す能力が必要です。

2012年秋以降、日本の不動産市場に異変が起きている。不動産物件、特に新しく出来たビル物件が品不足になっている。この現象は2006年の再現?と思われる。不動産バブルの前兆が出始めている。

もともと日本経済は不動産と株価が大きなウエイトを持った構造で、不動産バブルの前兆だけでなく株価にも異変がおきている。

2012年11月16日(金)、野田首相の衆議院解散。

日経平均株価は一日で194円上昇、11/19(月)には129円上昇。急ピッチに上昇し始めた。

自民党政権の再現(金融緩和と公共事業の拡大)が予測され急速に円安が進み、株価が急騰しはじめた。

選挙前の12/12 +56円、12/13 +161円上昇。

12月16日(日)の衆議院選挙では自公が324議席を確保。17日(月) +91円、18日(火) +94円と高騰、12月19日(水)には今年最大の上げ幅(+237円)を記録し、8ヶ月ぶりに株価1万円台を回復した。

政策転換に期待が集まっている。日本銀行は金融緩和の強化にむけ、新政権と政策協定(アコード)を結ぶ検討に着手した。追加緩和が出されるとの見方から円安が進み、業績改善が見込まれる自動車や電機などの輸出関連株に買注文が集まった。

経営難のシャープは、11月14日に比べて株価は9割近く上昇(163円→307円 88、3%上昇)

株の安倍バブルの兆候が出始めている。

2013年、“日本バブルの時代はじまる”まさに我が国では一斉に人、モノ、カネが動き始めている状況だ。ただし最初は控えめに……

すなわち、世界中が崩落局面となる中で我が国・日本だけがゆっくり上昇してくる状況が、控えめながらも始まったとIISIAは分析している。

世界に目を向けると、

欧州は国家債務・金融不安に悩み、米国は財政赤字が重くのしかかる。

世界経済の牽引役・中国が傾き始めた。

南米のアルゼンチンでは国家経済が苦境にたっている。

不安定な世界経済の中で、世界の金融資産が日本シフトし始める可能性が高まっている。

